

4. パワーメータ機能(FL41fは対象外)

【Mode】キーにてパワーメータモードにします。



【Shift → Zero】この手順でキーを押すと自動的にゼロ設定が行われます。自動ゼロ設定を行う時はコネクタキャップをしっかりと取り付けてください。

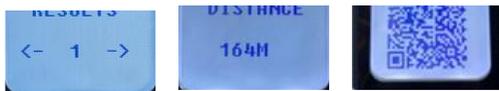
【Shift → Ref】この手順でキーを押すとレファレンス値(Ref)をメモリします。

【Shift → dB/dBm】この手順でキーを押すと絶対値測定(dBm)と相対値測定(dB)の測定モードを切替えます。dB表示にしたとき、レファレンス値(Ref)との差分が表示されます。

5. 保存データの参照とQRコード表示について

【Mode】ボタンにてFL RESULT若しくはOPM RESULTに切り替えます。

矢印ボタンにて保存データを選択し、【Start】ボタンにて結果が表示されます。少し経過するとQRコードが表示され、スマートフォンで読み取ることができます。



結果が表示されてから3秒ほど待つとQRコードが表示



QRコードURLにより、結果がVeEX社のサーバーにアップロードされ、スマートフォンのWEBブラウザ上に測定データが表示されます。
* 要インターネットアクセス

6. バッテリタイプスイッチについて

電圧が異なるために、タイプ(アルカリ電池とNiMH 배터리)に応じてディップスイッチを切り替えて下さい。

※お買い上げ商品には充電 배터리 が同梱されています。

充電は、付属のACアダプタをご使用ください。

(充電時間目安: 約3時間)



製品仕様

フォルトロケータ	FL41
波長 (nm)	1550 ±10 nm
距離レンジ (m)	10 m ~ 20 km
距離測定の精度(m) ^{2,3}	±(1 + 0.01 × L)
ダイナミックレンジ (dB)	4
表示分解能 (dB)	0.1
光コネクタ	SC/UPC
レーザーの安全性	IEC 60825-1:2014, クラス1
パワーメータ ⁴	
校正波長 (nm)	1310/1490/1550/1625
測定範囲 (dBm)	-35 ~ 0
パワー測定精度 (dB) ¹	±1
表示分解能 (dB)	0.1



FL41 光ケーブルフォルトロケータ ユーザーマニュアル



使用上の注意

レーザー発光(OTDR光):

- ・目への障害を防ぐために光ネットワーク機器、試験機器、パッチコード等の光出射口を絶対に見ないでください。
- ・機器が動作中は常に光出射口を直接覗き込まないでください。
- ・機器を使用しないときは光コネクタのキャップは常に装着してください。
- ・試験中は光ファイバーの解放端を絶対に覗き込まないでください。また、できるだけ解放端を無反射物に向けておいてください。
- ・実際の作業においては、1550nmのOTDR光が通信に影響を与えないことをお客様のシステムにおいて確認の上、ご使用ください。OTDR光が通信に影響を与えないことを保証するものではありません。

コネクタ清掃について

- ・測定前に光ファイバケーブル及び光入出力コネクタ内部のフェルール清掃を行ってください。汚れやチリなどが端面に付着していると測定性能に影響を与えます。

1. 外部コネクタについて

① 光ファイバー入力

FL41は、SC/UPCコネクタ(標準)に対応しています。

② 電源入力端子

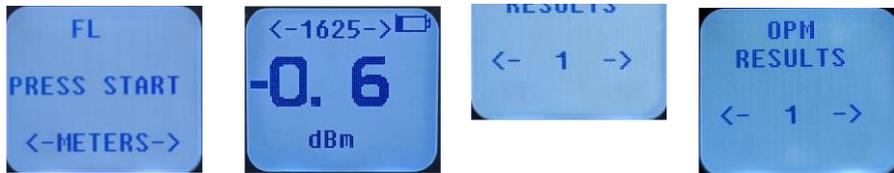
Micro-USBインタフェースにてDC 5V充電器の外部電源入力に対応しています。外部電源からの電力が供給されると電源LEDが点灯します。



2. キーパッド機能

【Mode】 キーを押すと各種測定モードの切り替えができます。

ロケータ (FL) ⇒ パワーメータ ⇒ 測定結果 (FL) ⇒ 測定結果 (パワーメータ)



【Shift】 シフトボタン

キーパッド緑字の機能を操作します。

- 1) 測定データの保存: Shift + **Save**
- 2) バックライトオン: Shift + ← (左) ボタン
- 3) バックライトオフ: Shift + → (右) ボタン

【Shift】 シフトボタンの長押し(3秒程度)

バックライト時間、パワーダウン時間、ランチケーブル補正值の設定ができます。

シフトボタンの長押し後、Modeボタンで任意の設定メニューに移動し、矢印ボタンで選択・Startボタンで決定します。

3. ロケータ機能

① 測定開始

【Mode】 キーを押して、FL(ロケータ)モードにします。

METERS(メートル)/FEET(フィート)の表示切替を矢印ボタンで行えます。

【Start】 ボタンを押して、測定を開始します。(約30秒程度かかります)



<注1> 測定レンジは 最大20kmとなります。

短距離(10m未満)の測定は別途延長ランチファイバークーブルが必要になります。

<注2> ファイバー終端やマクロベンドなど5dB程度の損失を伴う最初のイベントまでの距離を表示します。

② ランチケーブル補正值設定(例:100mのランチケーブルを使用)



Shiftボタン長押 ⇒ Modeボタンを押す

矢印キーでプリセットされた
ランチケーブル長(100m)を選択

ランチケーブル分を
差し引いた距離を表示



測定上の注意

被測定光ファイバーが活線(受光がある)である場合、FL41から出力されるパルス光がシステムに影響を与える可能性があります。また、表示される測定データはエラーがある可能性があるため十分な使用上の注意が必要となります。

光レベルを検知した時の画面



受光されている状態で、フォルトロケータを開始すると「LIGHT DETECTED」とメッセージが表示されます。

- ・キャンセルの場合: **【Mode】** キーを押す
- ・実行の場合: →(右)ボタンを押す